

伸びゆく子

栗東市立大宝東小学校だより No.4

令和8（2026）年6月30日

児童数 348名

心あたたか活気みなぎり、仲間と共に伸びゆく子

（だ）れにでも優しい子 （い）きいき学ぶ子 （ひ）とつながる子 （が）んばりぬく子

「まとめ」と「次へのステップ」の7月に ～一学期の確かな成長を力に変えて～

日ごとに日差しが強まり、夏の訪れを感じる季節となりました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

一学期の締めくくりとなる7月を迎えました。先月から始まったプール学習では、安全に十分配慮しつつ、子どもたちはそれぞれの学年目標に向けて元気に取り組んでいます。プール学習を通して、さらに心身の健康を培ってほしいと願っています。

6月号でも少し触れましたが、学習面では学級活動を核とした「話し合い活動」の充実に取り組んでいます。この活動で大切にしているのは、「自分の思い（考え）を持つ」「意見を述べる」「人の話を聞く」ことです。そして最も重要なのは、ディベートのように相手を説き伏せるのではなく、「いかにして折り合いをつけ、よりよい結論に結びつけるか」です。子どもの発達段階にもよりますが、相手意識を持ちながら対話する姿も見られ、相手の考えも尊重しようとする意識が感じられます。今後も、話し合い活動をとおり、子どもたち一人ひとりが豊かにつながり、自他を大切にすることのできる心と態度の醸成につなげて参ります。



さて、7月に入ると「もうすぐ夏休み」という開放的な気持ちになりがちですが、終業式までの残り約3週間は、一学期を締めくくる上で極めて重要な期間です。この3週間を次のステップへ進むための「充実の期間」とするために、以下の2つのことを意識してほしいと考えています。

1つ目は、「学習と生活の確かな『まとめ』をすること」です。

テストの振り返りをして苦手なところを学び直したり、整理整頓を心がけたりして、これまでの学びと生活を丁寧に総括します。「できたこと」は自信にし、「課題」はこれからの目標に変えていく大切な作業です。

2つ目は、「きまりを守り、落ち着いて過ごすこと」です。

夏を前にして心が浮き立ちやすい時期だからこそ、もう一度学校や地域でのきまり（交通安全、きまった時間の帰宅など）を見つめ直します。自分や周りの人の安全を大切にしながら、一日一日を丁寧に過ごしてほしいと願っています。

ご家庭におかれましても、この7月の残り3週間がお子様にとって心地よい緊張感を持った充実した日々となるよう、「一学期のまとめをがんばろうね」「今日も安全に気をつけてね」といった温かい声掛けと見守りをお願いいたします。

一学期の最終日まで、子どもたちが一歩ずつ確かな歩みをすすめ、全員が「やりきった」という充実感を持って夏休みを迎えられるよう、教職員一同、最後まで一丸となって指導にあたってまいります。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

校長 小林 久祥

音楽会

たくさんのお客さんを前に、緊張で胸がいっぱいの子どもたちでしたが、練習した成果を発揮しようと、一生懸命に演奏することができました。保護者様や地域の皆様から温かい拍手をいただき、満足そうな笑みを浮かべる子どもたち。最後までやり遂げることの素晴らしさや、友だちと力を合わせることの大切さを学びました。



4年生「びわこホール」芸術鑑賞 「吉川浄水場」見学



本格的なホールで演奏や歌を鑑賞することで、豊かな感性や表現力を育むことを目的として、交響楽団の演奏を鑑賞しました。演奏が始まると、会場いっぱいに音が広がり、子どもたちはリズムに合わせて体を動かしたり口ずさんだりして楽しんでいる様子でした。浄水場では、普段何気なく使っている水道水は、多くの人々の努力と設備によって安全に届けられているのだということを学びました。



全校清掃

ご協力ありがとうございました！！

今年は雨上がりに実施したこともあり、子どもたちにも作業しやすかったようで、たくさんの草を抜くことができました。おうちの方や友だちと一緒に取り組むなかで、みんな協力し合って、気持ちよく学習できる環境を整えることの素晴らしさを学びました。

お忙しい中ご協力くださり、本当にありがとうございました。次回もどうぞよろしくお願いいたします。



3年生「日清食品工場」見学

3年生は社会科の学習で日清食品栗東工場へ見学に行きました。最新の製造設備や、自動化された生産ラインを見学し、食品が安全に作られる仕組みについて学びました。写真は、楽しみにしていたカップヌードル作りをしているところです。それぞれ好きな具材を選んで、オリジナルカップヌードルを作りました。

